

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)

【公開番号】特開 2005-274887 (P2005-274887A)

【公開日】平成 17 年 10 月 6 日 (2005.10.6)

【年通号数】公開・登録公報 2005-039

【出願番号】特願 2004-87099 (P2004-87099)

【国際特許分類】

G 0 9 G 5/38 (2006.01)

G 0 6 T 3/20 (2006.01)

G 0 6 T 13/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/00 (2006.01)

G 0 9 G 5/36 (2006.01)

G 0 9 G 5/377 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 5/38 A

G 0 6 T 3/20

G 0 6 T 13/00 C

G 0 9 G 5/00 5 1 0 B

G 0 9 G 5/00 5 1 0 M

G 0 9 G 5/36 5 1 0 C

G 0 9 G 5/36 5 2 0 P

G 0 9 G 5/36 5 2 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 17 日 (2006.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 3】

複数の画像を所定のテンプレートシナリオに従って同一の表示面上に同時に表示しながら移動させるようにした画像表示システムであって、

前記各画像中の特定領域を抽出する特定領域抽出手段と、

前記画像を前記テンプレートシナリオに沿って移動させたときに当該画像同士が重なり合うときがあるか否かを判断する画像重複判断手段と、

当該画像重複判断手段で前記画像同士が重なり合うときがあると判断したときに、前記特定領域抽出手段で抽出された当該画像の特定領域が重なり合うときがあるか否かを判断する特定領域重複判断手段と、

当該特定領域重複判断手段で当該画像の特定領域が重なり合うときがあると判断したときに、前記特定領域が重複しないように画像の再生経路を変更する再生経路変更手段と、

当該再生経路変更手段で変更された画像の再生経路を前記テンプレートシナリオに反映させた新たなテンプレートシナリオを生成するテンプレートシナリオ生成手段と、

当該テンプレートシナリオ生成手段で生成された新たなテンプレートシナリオに沿って前記画像を表示させる画像表示手段と、を備えたことを特徴とする画像表示システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 9】

複数の画像を所定のテンプレートシナリオに従って同一の表示面上に同時に表示しながら移動させるようにした画像表示プログラムであって、

前記各画像中の特定領域を抽出する特定領域抽出手段と、

前記画像を前記テンプレートシナリオに沿って移動させたときに当該画像同士が重なり合うときがあるか否かを判断する画像重複判断手段と、

当該画像重複判断手段で前記画像同士が重なり合うときがあると判断したときに、前記特定領域抽出手段で抽出された当該画像の特定領域が重なり合うときがあるか否かを判断する特定領域重複判断手段と、

当該特定領域重複判断手段で当該画像の特定領域が重なり合うときがあると判断したときに、前記特定領域が重なり合わないよう画像の再生経路を変更する再生経路変更手段と、

当該再生経路変更手段で変更された画像の再生経路を前記テンプレートシナリオに反映させた新たなテンプレートシナリオを生成するテンプレートシナリオ生成手段と、

当該テンプレートシナリオ生成手段で生成された新たなテンプレートシナリオに沿って前記画像を表示させる画像表示手段と、をコンピュータに機能させることを特徴とする画像表示プログラム。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 10】

複数の画像を所定のテンプレートシナリオに従って同一の表示面上に同時に表示しながら移動させるようにした画像表示プログラムであって、

前記各画像中の特定領域を抽出する特定領域抽出手段と、

前記画像を前記テンプレートシナリオに沿って移動させたときに当該画像同士が重なり合うときがあるか否かを判断する画像重複判断手段と、

当該画像重複判断手段で前記画像同士が重なり合うときがあると判断したときに、前記特定領域抽出手段で抽出された当該画像の特定領域が重なり合うときがあるか否かを判断する特定領域重複判断手段と、

当該特定領域重複判断手段で前記特定領域が重なり合うときがあると判断したときに、当該画像のうち上側に重なり合う画像に対して透明処理を施す画像効果生成手段と、

当該画像効果生成手段による画像の透明処理を前記テンプレートシナリオに反映させた新たなテンプレートシナリオを生成するテンプレートシナリオ生成手段と、

当該テンプレートシナリオ生成手段で生成された新たなテンプレートシナリオに沿って前記画像を表示させる画像表示手段と、をコンピュータに機能させることを特徴とする画像表示プログラム。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

〔発明 3〕発明 3 の画像表示システムは、

複数の画像を所定のテンプレートシナリオに従って同一の表示面上に同時に表示しながら移動させるようにした画像表示システムであって、

前記各画像中の特定領域を抽出する特定領域抽出手段と、前記画像を前記テンプレート

シナリオに沿って移動させたときに当該画像同士が重なり合うときがあるか否かを判断する画像重複判断手段と、当該画像重複判断手段で前記画像同士が重なり合うときがあると判断したときに、前記特定領域抽出手段で抽出された当該画像の特定領域が重なり合うときがあるか否かを判断する特定領域重複判断手段と、当該特定領域重複判断手段で当該画像の特定領域が重なり合うときがあると判断したときに、前記特定領域が重なり合わないように画像の再生経路を変更する再生経路変更手段と、当該再生経路変更手段で変更された画像の再生経路を前記テンプレートシナリオに反映させた新たなテンプレートシナリオを生成するテンプレートシナリオ生成手段と、当該テンプレートシナリオ生成手段で生成された新たなテンプレートシナリオに沿って前記画像を表示させる画像表示手段と、を備えたことを特徴とするものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

〔発明 11〕発明 11 の画像表示プログラムは、

複数の画像を所定のテンプレートシナリオに従って同一の表示面上に同時に表示しながら移動させるようにした画像表示プログラムであって、

前記各画像中の特定領域を抽出する特定領域抽出手段と、前記画像を前記テンプレートシナリオに沿って移動させたときに当該画像同士が重なり合うときがあるか否かを判断する画像重複判断手段と、当該画像重複判断手段で前記画像同士が重なり合うときがあると判断したときに、前記特定領域抽出手段で抽出された当該画像の特定領域が重なり合うときがあるか否かを判断する特定領域重複判断手段と、当該特定領域重複判断手段で当該画像の特定領域が重なり合うときがあると判断したときに、前記特定領域が重なり合わないように画像の再生経路を変更する再生経路変更手段と、当該再生経路変更手段で変更された画像の再生経路を前記テンプレートシナリオに反映させた新たなテンプレートシナリオを生成するテンプレートシナリオ生成手段と、当該テンプレートシナリオ生成手段で生成された新たなテンプレートシナリオに沿って前記画像を表示させる画像表示手段と、をコンピュータに機能させることを特徴とするものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

〔発明 12〕発明 12 の画像表示プログラムは、

複数の画像を所定のテンプレートシナリオに従って同一の表示面上に同時に表示しながら移動させるようにした画像表示プログラムであって、

前記各画像中の特定領域を抽出する特定領域抽出手段と、前記画像を前記テンプレートシナリオに沿って移動させたときに当該画像同士が重なり合うときがあるか否かを判断する画像重複判断手段と、当該画像重複判断手段で前記画像同士が重なり合うときがあると判断したときに、前記特定領域抽出手段で抽出された当該画像の特定領域が重なり合うか否かを判断する特定領域重複判断手段と、当該特定領域重複判断手段で前記特定領域が重なり合うときがあると判断したときに、当該画像のうち上側に重なり合う画像に対して透明処理を施す画像効果生成手段と、当該画像効果生成手段による画像の透明処理を前記テンプレートシナリオに反映させた新たなテンプレートシナリオを生成するテンプレートシナリオ生成手段と、当該テンプレートシナリオ生成手段で生成された新たなテンプレートシナリオに沿って前記画像を表示させる画像表示手段と、をコンピュータに機能させることを特徴とするものである。